

- 農業政策の変遷とその背景
- 今、政策に求められるべきもの
- 輸出への挑戦





戦後の食糧難 国会議事堂前も芋畑

1946（昭和21）年6月18日、終戦直後の食糧難を切り抜けるため、空き地という空き地はほとんど耕され、麦、芋、野菜などが植え付けられた。国会議事堂前も例外ではなく、掘り起こされて一面が芋畑となり職員が手入れに励んだ。

—共同通信社—



開拓当初の 十勝

— 帯広百年記念館
所蔵 —



馬耕の時代

— 帯広百年記念館
所蔵 —



馬耕の時代

— 帯広百年記念館
所蔵 —

十勝の水田作況
。造石四リヨ斗六石一量収り當反。歩町萬六地適田水



十勝の水田

— 帯広百年記念館
所蔵 —



大型合理化工場として昭和36年から操業開始した
ホクレン芽室
澱粉工場



馬耕から トラクターへ

— 帯広百年記念館
所蔵 —



馬耕から トラクターへ

—帯広百年記念館
所蔵—



十勝農業 近代化の 幕開け

— 帯広百年記念館
所蔵 —



十勝開拓当初から
続く自然の猛威

昭和11年
売買川大洪水

一帯広百年記念館
所蔵一

臨時行政調査会
土光敏夫会長
訪問の証し

「農業基盤整備は国の
事業」と認識された大
きな節目

～十勝農業の生産性
を高める契機となる





基盤整備が 進む十勝

— 暗渠排水工事施工
直後の十勝の圃場

輸入がストップした場合の 食事例（農水省）

～2015年における農地の見込み面積（450万ha）などを前提に、
熱効率を最大化（2,020kcal）した場合の試算

加えて、うどん2日に1杯、みそ汁2日に1杯、納豆3日に2パック、牛乳6日にコップ1杯、
たまご7日に1個、食肉9日に1食

資料：農林水産省「いざという時のために ～不測時の食料安全保障について～」

朝食

昼食

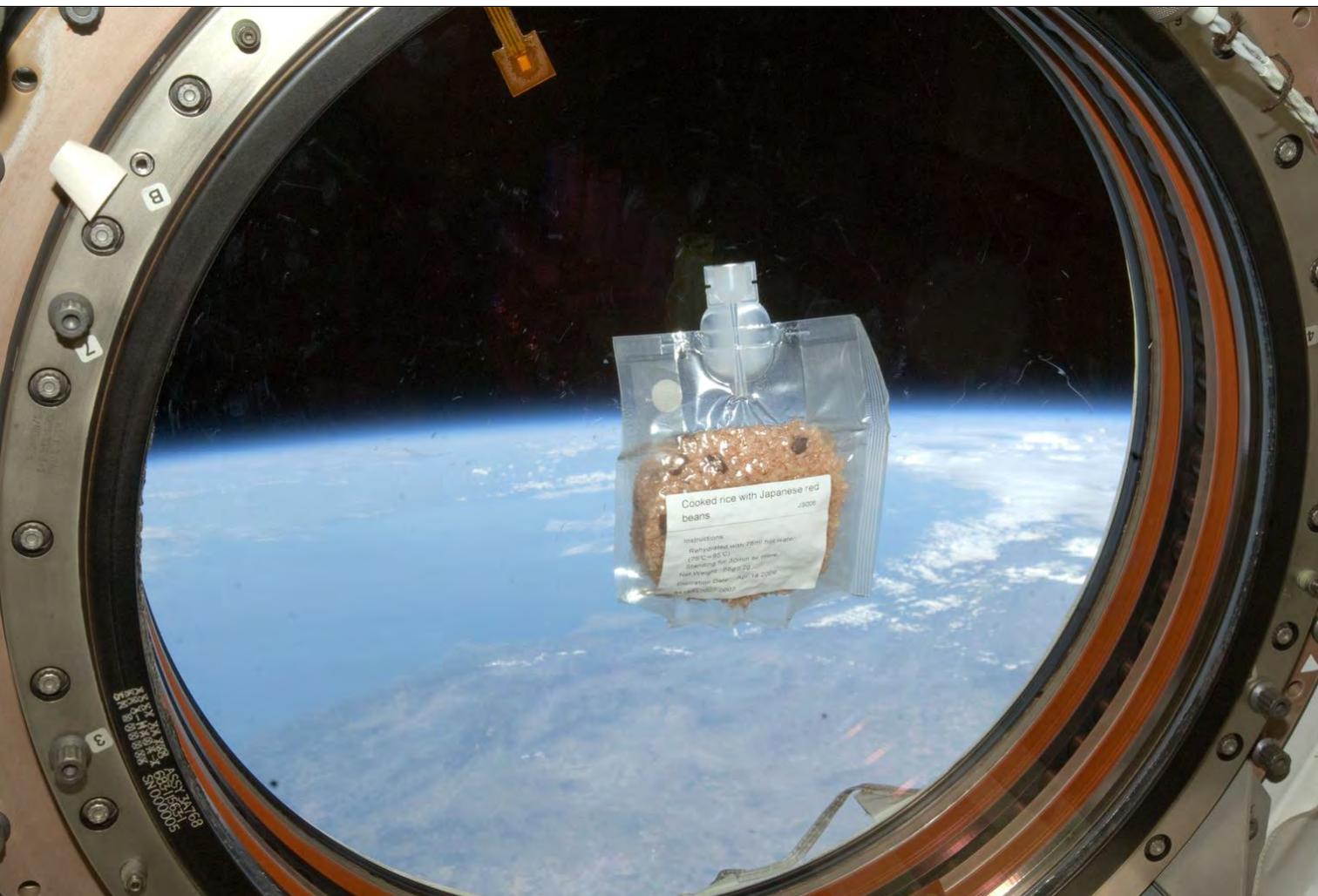
夕食



海外輸出

十勝物産展inロサンゼルス





究極の安全安心

J A 帯広かわにしの「小豆」が宇宙へ

平成30年1月以降、尾西食品株式会社様製造の宇宙日本食「赤飯」の原料として当JAの小豆を供給

※長いもの宇宙食も開発中

提供：JAXA/NASA

— 持続的な農業の展開で未来へ —





Oshima
KAWANISHI

十勝の肥沃な大地と、豊かな水 自慢の風土が生んだ自慢の逸品。

壮大な山々と恵み豊かな大地に抱かれた「北の田園 十勝」。
この広大な大地で生まれた子供たちは
日本全国・世界各国に安心と美味しさを届けています。



 JA帯広かわにし
帯広市川西農業協同組合
<https://www.jaobihirokawanisi.or.jp/>



本店	〒089-1198 帯広市川西町西2線61番地の1	☎0155-59-2111
帯広中央支店	〒080-0015 帯広市西5条南9丁目1番地1	☎0155-22-3131
東京支店	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3丁目28番地の7 昇龍館ビル5F	☎03-3292-7031
大空支店	〒080-0838 帯広市大空町12丁目2番地3	☎0155-48-5888
みなみ野支店	〒080-0862 帯広市南の森西1丁目1番地1	☎0155-47-6680
西帯広支店	〒080-2473 帯広市西23条南2丁目1番地10	☎0155-37-3955
稲田支店	〒080-0012 帯広市西2条南34丁目23番地	☎0155-48-2911
広野支店	〒080-2335 帯広市広野町西2線152番地	☎0155-60-2545
清川支店	〒080-2103 帯広市清川町西2線128番地	☎0155-60-2041
上帯広店	〒080-2334 帯広市上帯広町基線74番地	☎0155-64-4762
戸蔭店	〒080-2113 帯広市上清川町西1線183番地	☎0155-60-2323
西帯広事業所	〒080-2472 帯広市西22条南1丁目6番地	☎0155-37-2633
青果部	〒089-1184 帯広市別府町南18線32番地	☎0155-59-2241
岐阜各務原事業所	〒509-0141 岐阜県各務原市鷺沼各務原町7丁目7番地	☎0583-70-3603
特産品直売所	〒080-0012 帯広市西2条南34丁目23番地	☎0155-48-2264



2022-2023

guidance

 帯広市川西農業協同組合

Top Message



帯広市川西農業協同組合
代表理事組合長

有塚 利宣

組合長挨拶

皆様には、日頃よりJA帯広かわにしをご愛顧賜り、誠にありがとうございます。

当組合は、平成15年4月1日に帯広川西農協と帯広市農協の合併により設立されました。北海道の東部・十勝平野の中央部に位置する帯広市を区域としており、12,800haの農用地に小麦、馬鈴薯、てん菜、豆類、長いもを基幹として畜産を含め多岐にわたる野菜類を産出する食糧生産基地であります。

安全で安心してもらえる農畜産物を生産するために生産者と一体になり鋭意研鑽しながら、地域の豊かな生活と安定した経済を築くために努力しております。

農業は単に食料を供給するのみではなく、自然環境の保全、良好な景観の形成などすべての人々に住みよい環境を創造していく多面的な機能を有しています。

未来への農業を展望しながら食糧基地十勝の発展と、皆様に愛され共生できる農業農村を目指し一層の精励を続けて参ります。

基本理念

JA帯広かわにしは 安全、安心な農畜産物を提供し、地域の豊かな生活と安定した経済を築くために貢献していきます。

基本目標・基本方針 ～ 農業振興・農協経営5ヵ年計画 ～

農業の振興と 組合員の暮らしの向上

- 未来を志向する多様な経営体の育成
- 所得向上を支える強靱な農業生産基盤の確立
- グローバル化に対応した販売力強化
- 持続可能な農業都市の実現

事業運営体制と 経営基盤の強化

- 財務の健全化と基盤強化、収益性の改善
- 職場教育の充実とコンプライアンス（法令等遵守）の徹底
- 業務の効率化と総合情報システムの有効活用

組合員・地域とのつながり強化と 協同活動の理解促進

- 地域社会へ貢献するサービスの提供
- 組合員の協同活動への結集と理解促進
- 組合員・利用者などの資産形成支援
- 高度情報化に対応した組合員ネットワークの構築

地域の概要

地理

帯広市は、北海道の東部・十勝平野のほぼ中央部に位置し、面積約618km²、人口約16万人で、十勝の農林業の集散流通都市として発展してきました。

市街地は北に集中しており、南には大規模畑作地帯が続き、広大な田園地帯を形成しています。



帯広への交通アクセス

✈️ 空路 とかち帯広空港

- 東京（羽田空港）
約1時間40分

🚆 鉄道（JR） 帯広駅

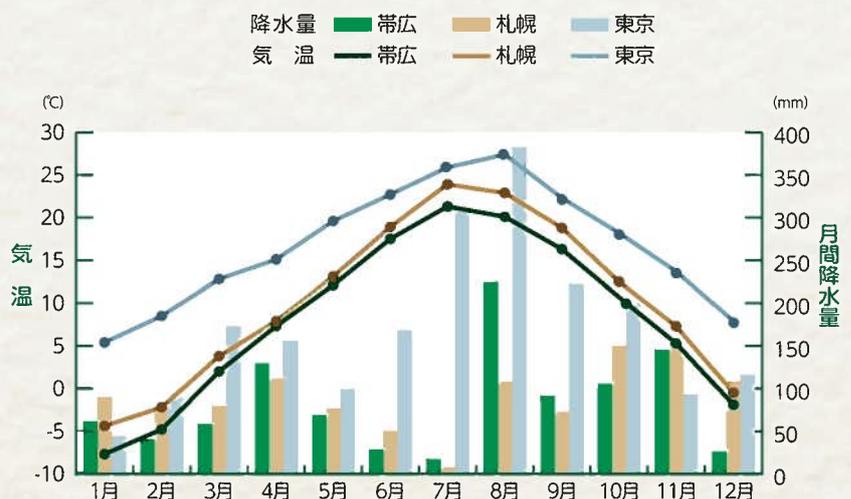
- 札幌駅
約2時間25分～50分
- 新千歳空港
約2時間10分～35分
- 釧路駅
約1時間35分～40分



気候

十勝は日高山脈と大雪山を背に太平洋に面し、気象は大陸型気候の特徴を有し、春と秋は短く、夏は比較的高温ながら爽やか、冬は寒さが厳しい反面、降水量が少ないことから晴天日数が極めて多くなっています。十勝平野の中央を広大な十勝川が流れ、川西地域の東を流れる札内川は、清流日本一に過去8回輝いており、この川の伏流水を飲用する帯広の水は、澄んだ空気とともに「水と空気のおいしいまち」として帯広市民の誇りとなっています。

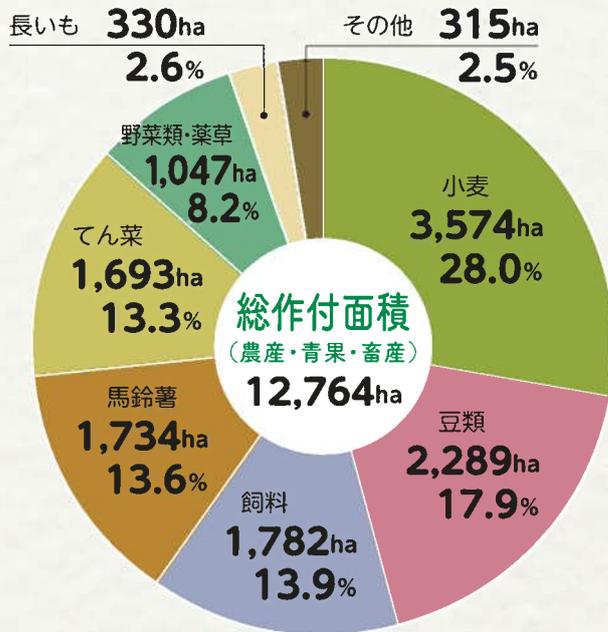
月平均気温と月間降水量の比較



地域の農業

(令和3年)

農産物の作付構成

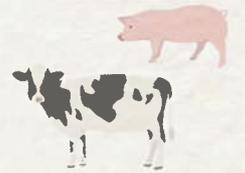


野菜類・薬草内訳 1,047ha

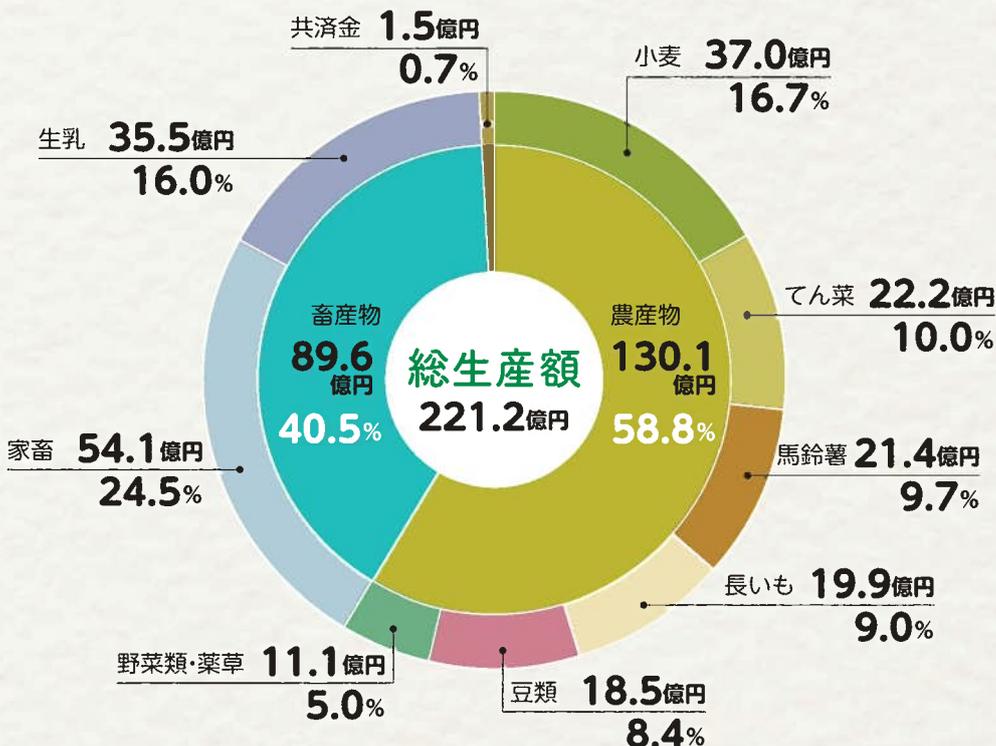
スイートコーン	417ha
玉ねぎ	130ha
人参	120ha
枝豆	83ha
薬草	63ha
ごぼう	52ha
かぼちゃ	43ha
キャベツ	42ha
グリーンアスパラ	20ha
長ねぎ	19ha
ゆり根	4ha
その他	54ha

家畜飼養頭数 30,492頭

肉牛	19,581頭
乳牛	6,201頭
豚	4,710頭



農業生産額の構成



野菜類・薬草内訳 11.1億円

スイートコーン	2.0億円
薬草	1.9億円
玉ねぎ	1.6億円
ごぼう	1.3億円
長ねぎ	0.9億円
人参	0.8億円
キャベツ	0.7億円
枝豆	0.6億円
かぼちゃ	0.6億円
グリーンアスパラ	0.5億円
ゆり根	0.2億円



組織概要

(令和4年4月1日現在)



- 名称 帯広市川西農業協同組合
- 設立 平成15年4月1日
- 地区 帯広市一円
- 正組合員戸数 461戸

組合員 11,648名

正組合員 746名

准組合員 10,902名

- 出資金 24.1億円
- 役員 理事 13名 (うち常勤3名) 監事 5名 (うち常勤1名)
職員 220名 (パートを含む)

● 組合員組織

- 農協青年部
- 農協女性部
- 酪農振興会
- 養豚振興会
- 食用馬鈴薯生産組合
- 加工馬鈴薯生産組合
- 種子馬鈴薯生産組合
- 豆類種子生産組合
- 大豆生産振興会
- 長いも生産組合
- 薬用植物生産組合
- 百合根生産組合
- Gアスパラガス生産組合
- 白ねぎ生産組合
- 玉ねぎ生産組合
- キャベツ生産組合
- 小麦生産組合長会
- 馬鈴薯総合対策委員会
- 澁原馬鈴薯地区委員長会
- 豆類対策委員会
- 労働力対策委員会
- てん菜対策委員会

● 子会社等

- (株)JAサービス帯広かわにし (不動産賃貸・物品販売)
- JA帯広かわにし協同振興(株) (不動産業・物品販売)
- 有限責任事業組合帯広畜産センター (生乳の集乳・受託処理)
- (株)帯広市農業振興公社 (乳牛等の預託)

沿革

平成15年度	帯広市川西農業協同組合設立 (帯広川西農協と帯広市農協による合併) 長いも集出荷貯蔵施設竣工	平成22年度	十勝型GAP導入 貯金残高800億円達成
平成16年度	帯広中央支店新築移転 長いも洗浄選別施設竣工 豆類小袋計量包装ライン竣工	平成24年度	長いも製品保管・出荷施設竣工
平成17年度	農産物生産履歴システム導入 加工馬鈴薯貯蔵庫竣工 豆類小袋計量包装施設 SGS HACCP認証取得	平成25年度	穀類乾燥調製施設(新品種対応)竣工
平成18年度	「十勝川西長いも」地域団体商標登録 帯広市川西長いも生産組合 日本農業賞大賞受賞	平成27年度	玉ねぎ選別貯蔵施設竣工 貯金残高900億円達成
平成19年度	帯広市川西長いも生産組合 農林水産祭天皇杯(園芸部門)受賞 長いも洗浄選別施設 SGS HACCP認証取得	平成28年度	「十勝川西長いも」 地理的表示(GI)保護制度登録
平成21年度	穀類乾燥調製施設竣工	平成29年度	十勝川西長いも運営協議会 輸出に取り組む優良事業者農林水産大臣賞受賞 「十勝川西長いも・小袋豆」SQF認証取得
		平成30年度	当組合の小豆が宇宙日本食「赤飯」の 使用原料に採用決定
		令和元年度	長いも洗浄選別施設新ライン竣工 貯金残高1,000億円達成
		令和2年度	「十勝川西長いも」 知財功労賞特許庁長官表彰受賞

事業概要

営農振興事業

地域農業の振興のための諸事業と、地域社会の消費・健康・文化・娯楽などきわめて広い生活改善の向上を図る活動を行っています。

- 農業経営の相談
- 農政活動
- 生活改善、教育、福祉活動

販売事業

消費者に安全・安心な農畜産物を提供するために、農家生産組織と一体になり、生産基準の設定、共同集荷・選別・出荷を行います。地域の多くの農畜産物は、全国の卸売業者や食品加工業者に発送されます。

- 農畜産品別生産組織の事務局活動
- 農産物の共同集荷・貯蔵・選別・出荷業務
- 畜産物の集荷・販売業務

購買事業

共同仕入れにより、廉価・安定供給を図りながら、農業生産資材（肥料・資材・農薬・飼料・種子）と、地域の人々と密着した暮らしと生活を守る物資等、多岐にわたり販売を行います。

- 農畜産物生産に必要な資材の供給
- Aコープ店舗による生活物資の供給
- 特産品直売所の運営
- 燃料・自動車関連用品の供給
- 自動車の供給、整備事業の運営
- 農業用機械・部品・工具の供給

信用事業

地域に密着して、利用者にきめ細かなサービス提供と、健全な地域金融機関として、安全で有利な各種貯金、暮らしの夢をかなえる必要な資金を、JAならではの各種ローンでご利用頂きます。

- 貯金・融資・各種相談
- 年金自動受取・給与振込・公共料金口座振替等のサービス業務

共済事業

「信頼・安心・身近さ」をモットーに、ライフアドバイザーによるきめ細かな相談活動によって、地域の皆様の最適な保障と生活設計を応援します。

- 生活保障設計の相談・提案
- 終身共済・養老生命共済・年金共済・医療共済等の生命保障の提案
- 建物更生共済・自動車共済等の損害保障の提案

管理部門

経営管理、活力ある健全な職場づくり、職員教育等、組織を支え運営していくための活動を行います。

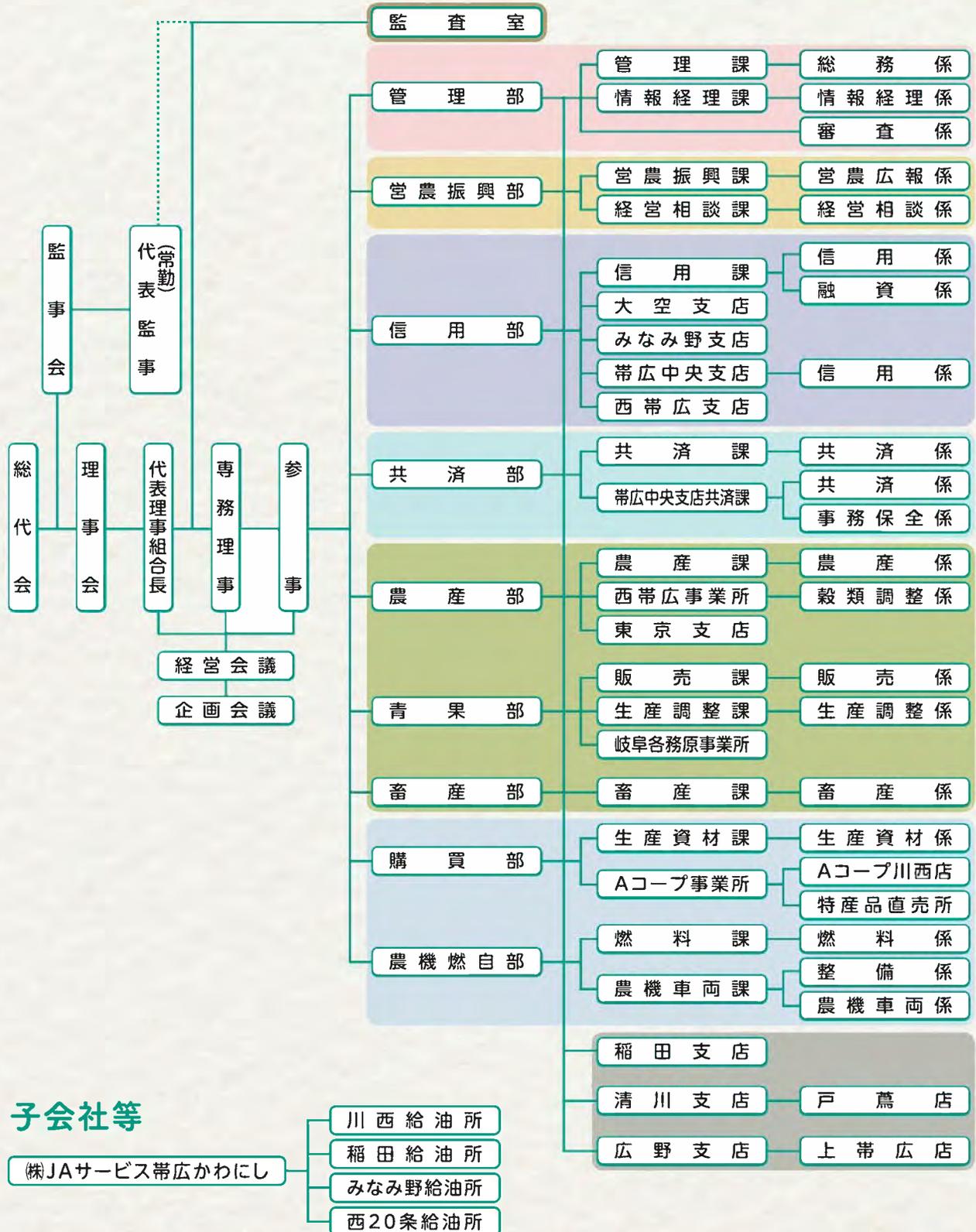
- 年次計画・決算・財務に関する業務
- 中期経営計画・人事・労務に関する業務

監査部門

経営目標の効果的な達成に役立つことを目的として、内部管理体制が適切か評価し、問題点の改善方法について助言・支援を行います。

- 監査の実施・内部統制の有効性評価
- 不正・不当事件の未然防止
- 内部監査による情報収集と業務処理の効率化に向けた提案指導

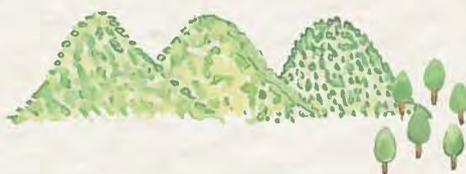
機構図



子会社等

- 川西給油所
- 稲田給油所
- みなみ野給油所
- 西20条給油所

- JA帯広かわにし協同振興株
- 有限責任事業組合帯広畜産センター
- 株帯広市農業振興公社



主な施設



① 本店事務所



① 生産資材受渡所



① Aコープ事業所



① 農業機械管理センター

② 東京支店

帯広市内の施設所在地



- ① 上帯広店
- ② 広野支店
- ③ 清川支店
- ④ 戸島店

本店 他
北海道帯広市

岐阜各務原事業所
岐阜県各務原市

東京支店
東京都千代田区



各店・事業所



③ 帯広中央支店



④ 稲田支店



⑤ 大空支店



⑥ みなみ野支店



⑦ 西帯広支店

農産部



⑧ 豆類小袋計量包装施設



⑧ 穀類貯蔵施設



⑨ 穀類受入乾燥施設

青果部



⑨ 長いも洗浄選別施設



⑨ 長いも製品保管・出荷施設



⑨ 長いも集出荷貯蔵施設



⑨ 加工馬鈴薯貯蔵庫



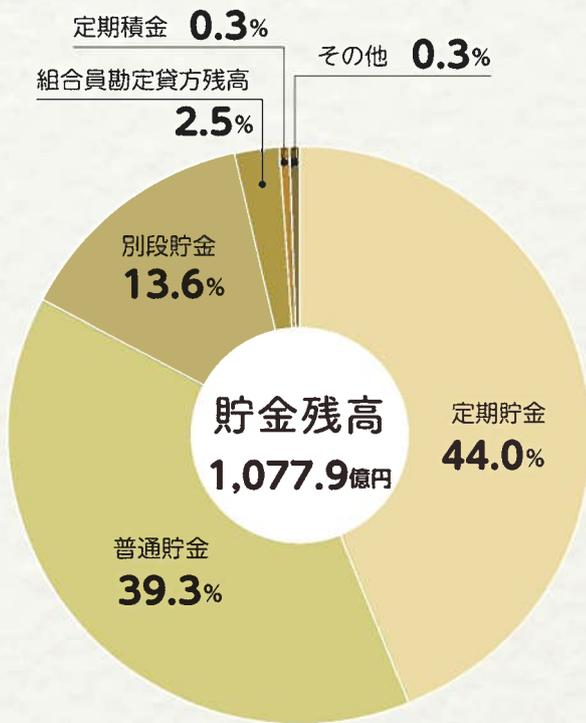
⑨ 玉ねぎ選別貯蔵施設



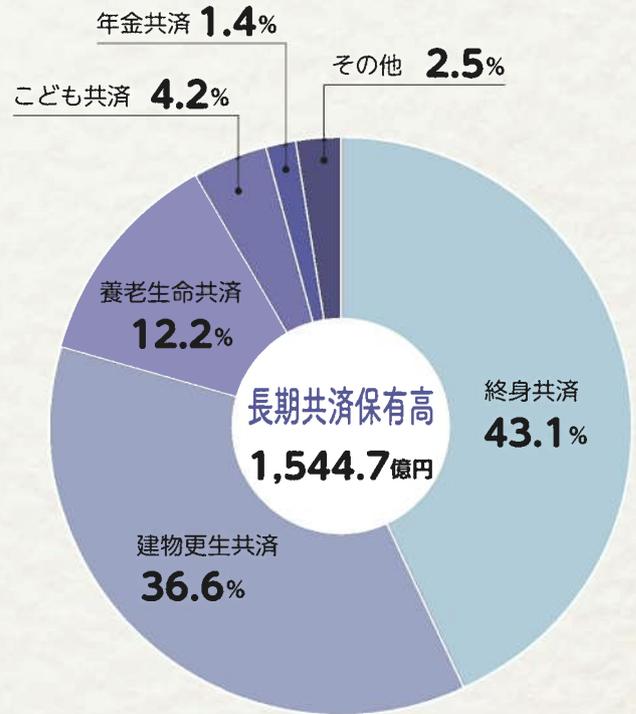
⑩ 岐阜各務原事業所

事業実績

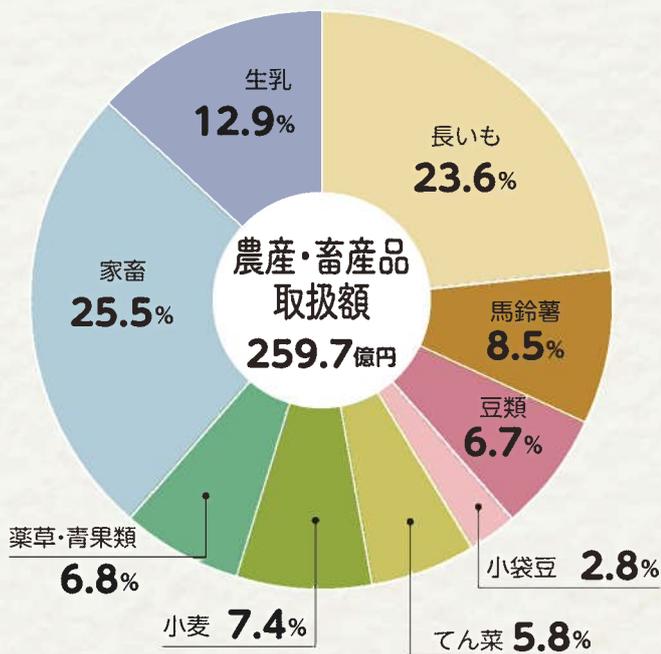
貯金残高



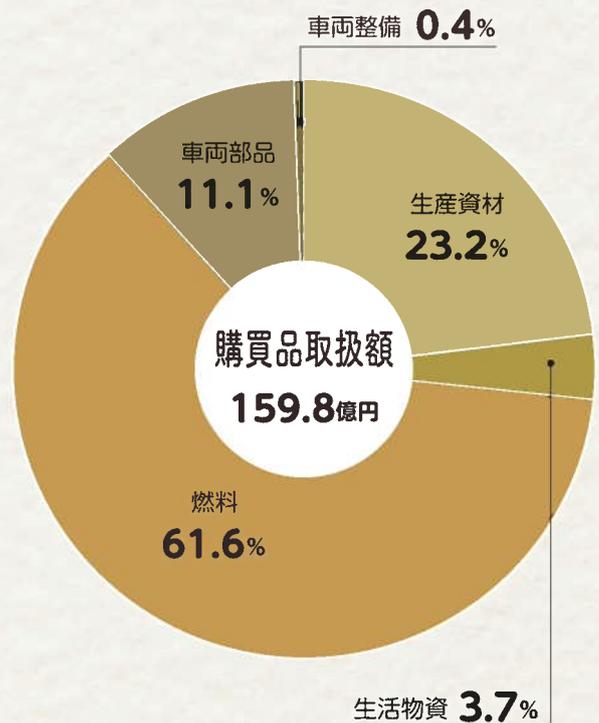
長期共済保有高



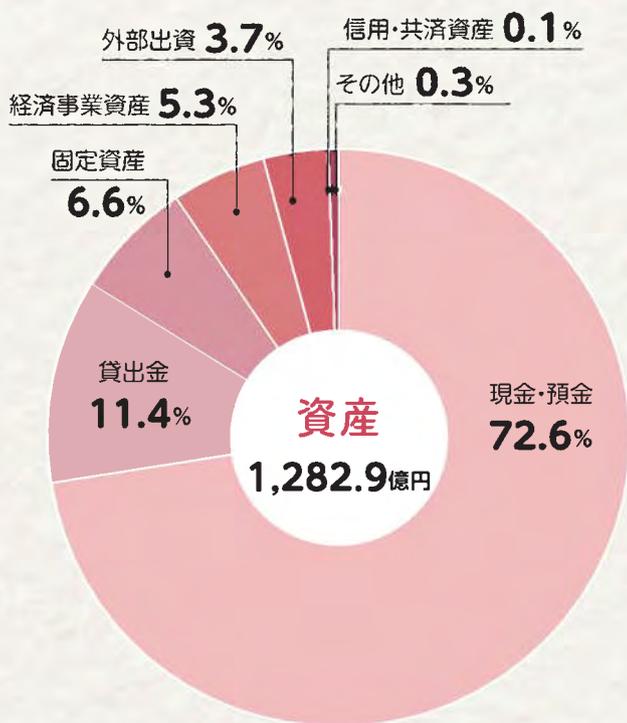
農産・畜産品取扱額



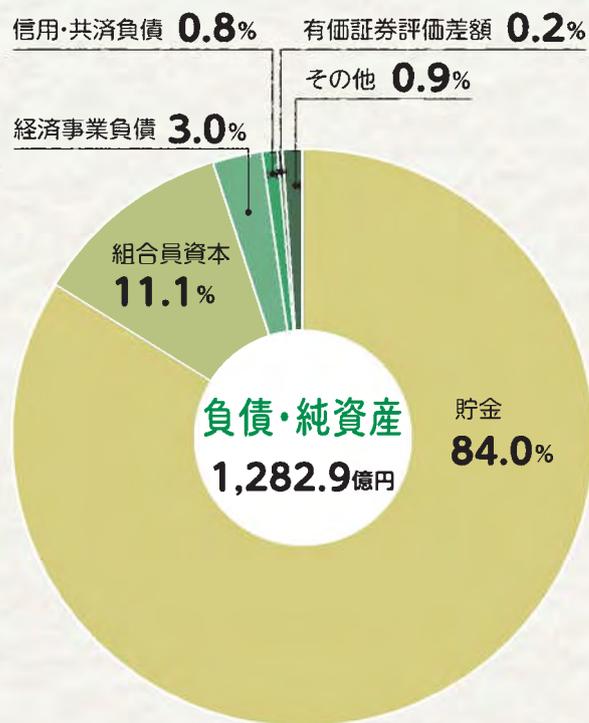
購買品取扱額



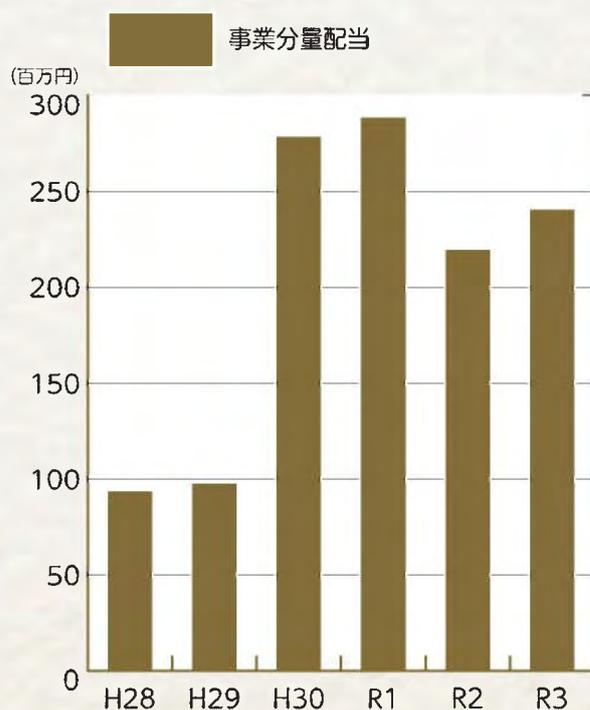
資産



負債・純資産



当期利益（税引前）と事業分量配当の推移



取り組みの紹介 ①



究極の安全安心・さらなる高品質をもとめて…

HACCP・SQF

JA帯広かわにしは青果部（長いも洗浄選別施設）、西帯広事業所（豆類小袋計量包装施設）の両施設において、食品安全計画のHACCP認証の取得、更に国際基準でGFSIスキームである食品安全、品質プログラムのSQF認証を取得致しております。HACCP、SQF共に農産物選果場では珍しく、「安全安心高品質」の究極を求める精神で農産物提供に取り組んでいます。

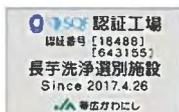
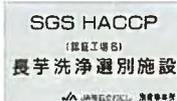
HACCPとは

食品などの製造工程で発生する恐れのある微生物汚染や異物混入などの危害要素を排除する国際的に認められた食品衛生管理の手法です。

SQFとは

Safe Quality Foodの略称で「安全で高品質な食品」を意味する国際規格です。第三者の審査機関によって定期的な審査が義務付けられており、その信頼性が保証されています。

青果部（別府事業所）



SQF認証の取得



洗浄選別施設
No.18488



皮むき施設
No.643155



西帯広事業所



SQF認証の取得



豆類小袋計量包装施設
No.643154



最先端の長いも工場

自動化された 長いも選果場

JA帯広かわにし青果部(長いも洗浄選別施設)は更なる効率化、省力化を求め新技術の採用、開発を行い長いも選果場の自動化に取り組みました。

個包装

従来のおが粉入り段ボールから個包装(フィルム包装)に変更することで消費地でのおが粉処分の課題が解決されました。

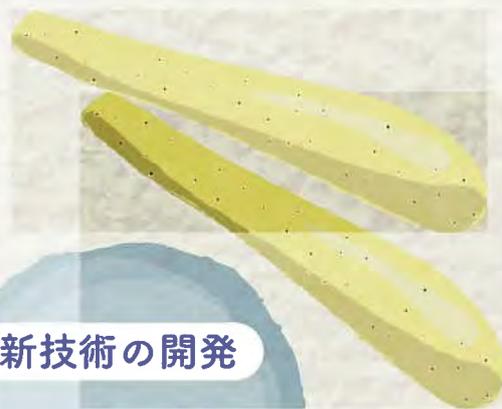
国内初のタイムレス超音波シール(注)の採用により従来の個包装より品質保持期間が長くなりました。

個包装ごとにシリアル番号を記載することで一本でのトレーサビリティが可能になりました。

(注)タイムレスとは特殊な溝を成型する超音波シール技術



製品の保管から出庫までは平成24年に自動化



新技術の開発

- ① 振分ラインの開発
- ② 箱詰めロボットの開発



新技術の採用



- ① 3Dカメラの採用
3Dカメラで規格・サイズの判定を自動化



- ② タイムレス超音波シール搭載包装機の採用(日本初)

自動化された長いも選果場の動画は
右記のQRコードから
ご覧いただけます。



取り組みの紹介 2

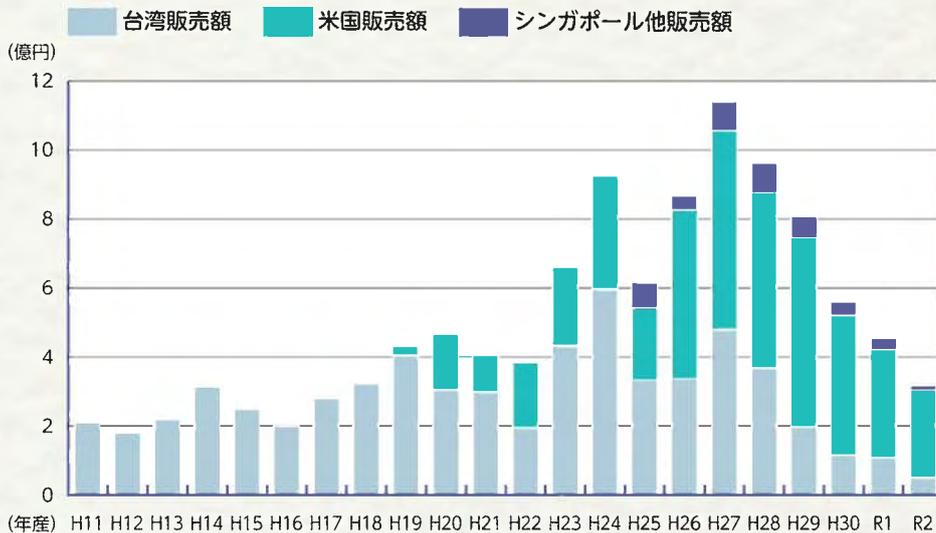
世界へ羽ばたく「十勝川西長いも」

海外輸出

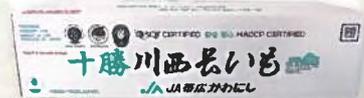
太物が好まれる台湾への輸出を平成11年よりスタート致しました。さらに平成19年より米国の中華系スーパー向けの輸出を開始し、国際規格の認証を取得していることが海外での信頼の証となり、現在では全出荷量の15%程度が海外に輸出されております。

「十勝川西長いも」は、現在、JA帯広かわにしを含む10JAで生産されており、全国でも最大規模の産地です。豊作時に価格が低迷すること、太物（4Lサイズ）は国内では敬遠され低価格の取引となることから、漢方薬として

輸出金額の推移



▲ 国内用 長いも



▲ 台湾・米国他輸出用 長いも



▲ シンガポール輸出用 長いも

唯一のブランドを目指して…

地理的表示 (GI) 保護制度

JA帯広かわにしの「十勝川西長いも」は、地域ブランドを守るための「地理的表示保護制度」の対象科目として平成28年10月12日に登録を受けました。



地理的表示 (GI) 保護制度 とは

地理的表示 (GI) 保護制度とは、特色がある地域の農林水産物や食品の名称を地理的表示として登録し、国が知的財産を保護する枠組みです。

登録には品質や社会的評価が確立し、産地と結びついていることが条件となっています。



日本全国へ家庭用豆類を販売 ~産地から食卓へ~

東京支店



JA帯広かわにしは、地域の魅力的な農産物の価値を最大限に引き出したいと考えており、小豆などの豆類を原料として販売するだけでなく、家庭用製品として安全・安心で高品質な小袋豆や豆関連加工品などを販売しております。

東京支店は、小袋豆などの販売窓口として、昭和47年に東京サービスセンターの名称で活動をスタート致しました。その後、首都圏等大消費地での評価の高まりを受け順次フォロー体制の整備に着手し、昭和58年には東京営業所、平成4年には現在の東京支店へと機構改革を行いながら全国の販売地域を管轄する体制を築いております。

事業開始から今日に至るまで多くのお客様からの支持を受け、全国の家庭へ豆類を届けております。

ピロータイプ



小豆



大納言



大正金時



大豆



光黒大豆

JA帯広かわにしの「小豆」が宇宙へ

宇宙日本食

平成30年1月以降、尾西食品株式会社様製造の宇宙日本食「赤飯」の原料として当JAの小豆を供給しております。この製品の原料は宇宙日本食の他、「尾西の赤飯」として災害や緊急時の保存食として広く利用されております。今後も生産者とJAが一体となり安全・安心に加え高品質な農産物の提供に向けた取り組みを継続して信頼に応えて参ります。(令和4年9月現在)



SS029C07448

©JAXA/NASA



OBHIROSHI-KAWANISHI
AGRICULTURAL CO-OPERATIVE SOCIETY